

福岡県内の薬局における ジェネリック医薬品の使用実態調査

福岡県保健医療介護部薬務課

○調査方法

対象病院：(社)福岡県薬剤師会会員調剤薬局

調査方法：アンケートの配布及び回収を

(社)福岡県薬剤師会に依頼

調査期間：平成20年9月1日～9月30日

平成22年11月10日～11月19日

平成24年11月12日～11月21日

○回答率

平成20年度：70.3% (1,555施設/2,213施設)

平成22年度：87.3% (2,014施設/2,306施設)

平成24年度：80.7% (1,900施設/2,353施設)

※結果については、過去の調査結果と比較できる事項は、併せて記載した。

取扱い処方せん の 状況

平均処方せん枚数	469枚
うち変更不可サインあり処方せん枚数	102.7枚
GE調剤処方せん率 (1品目以上GEを調剤した処方せんの割合)	58.0%
銘柄指定GE調剤率 (銘柄指定されたGEをそのまま調剤した品目が1つ以上あった処方せんの割合)	32.5%
一般名処方率 (一般名処方された品目が一つ以上あった処方せんの割合)	36.6%
うちGEを調剤した割合	78.6%
GEへ変更し調剤した割合	7.1%

※回答が有効であった施設について集計(n= 1,268)

3

取扱い処方せん の 状況

処方内容及びGE変更の有無	H22.11			H20.9				
	変更不可サイン	割合(①~⑦)		変更不可サイン	割合(①~⑦)			
		割合(①~④)	割合(①~③)		割合(①~④)	割合(①~③)		
① 1品目以上、GEに変更した (銘柄名で記載されたGEをほかのGEに変更したものを含む。)	「無」 72.8%	5.7%	7.8%	9.5%	「無」 68.0%	3.9%	5.7%	6.9%
② 変更していないが、GE(銘柄指定)は調剤した		34.3%	47.1%	57.3%		31.8%	46.8%	56.8%
③ 変更可能な品目があったが、 1品目もGEを調剤しなかった		19.8%	27.2%	33.2%		20.4%	29.9%	36.3%
④ 変更可能な品目が1品目も無かった (全てGEの無い先発医薬品であった)		13.0%	17.9%			12.0%	17.7%	
⑤ GEが銘柄指定されていた	「有」 27.2%	11.7%			「有」 32.0%	13.8%		
⑥ 変更可能な品目があった(⑤の場合を除く。)		10.1%				11.6%		
⑦ 変更可能な品目が1品目も無かった (全てGEの無い先発医薬品であった)		5.5%				6.6%		
有効回答施設数(*1)	1,932			893				
処方せん枚数(*2)	918,208			1,063,214				

*1 ①~⑦の回答全てが有効だった施設について集計

*2 H20年調査は1ヶ月間、H22年調査は10日間の調査

4

GEの「変更調剤」について

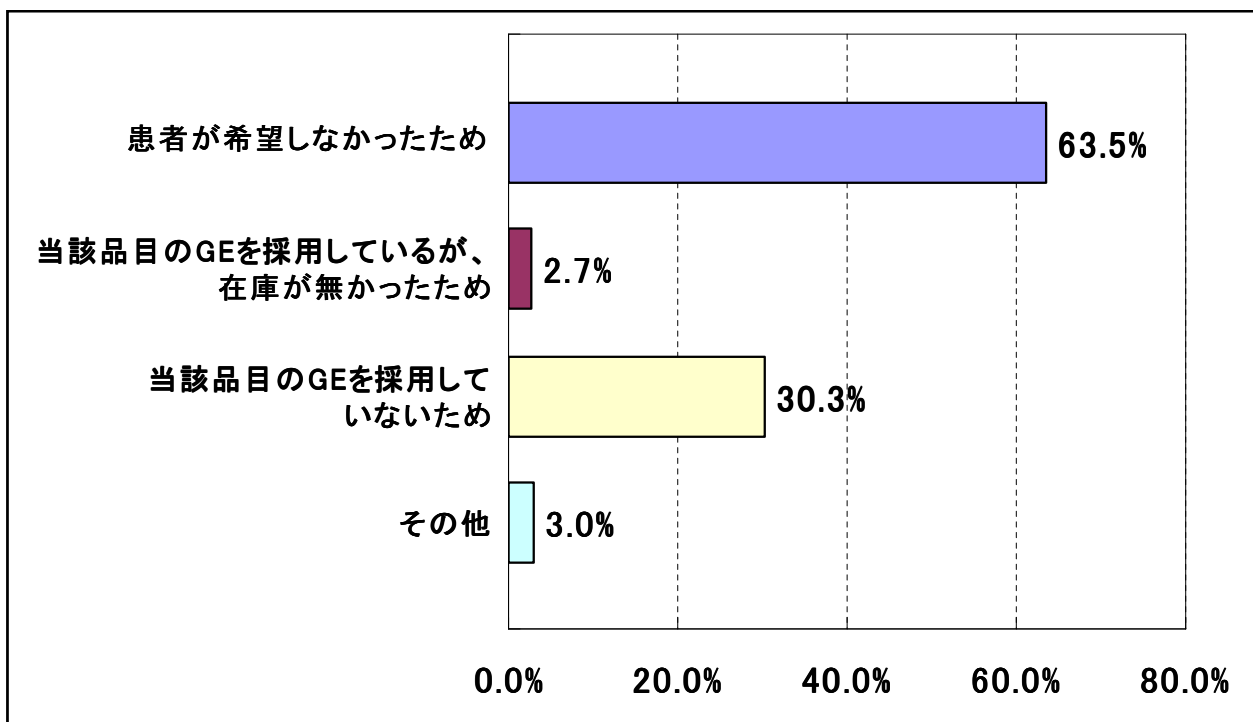
平成24年度	全処方せん中	1品目以上、GEへ変更した処方せん中
含量規格を変更したもの	0.06%	0.91%
剤形を変更したもの	0.11%	1.56%

※回答が有効であった施設について集計
一般名処方含まない

平成22年度	全処方せん中	1品目以上、GEへ変更した処方せん中
含量規格を変更したもの	0.14%	2.53%
剤形を変更したもの	0.25%	4.36%

5

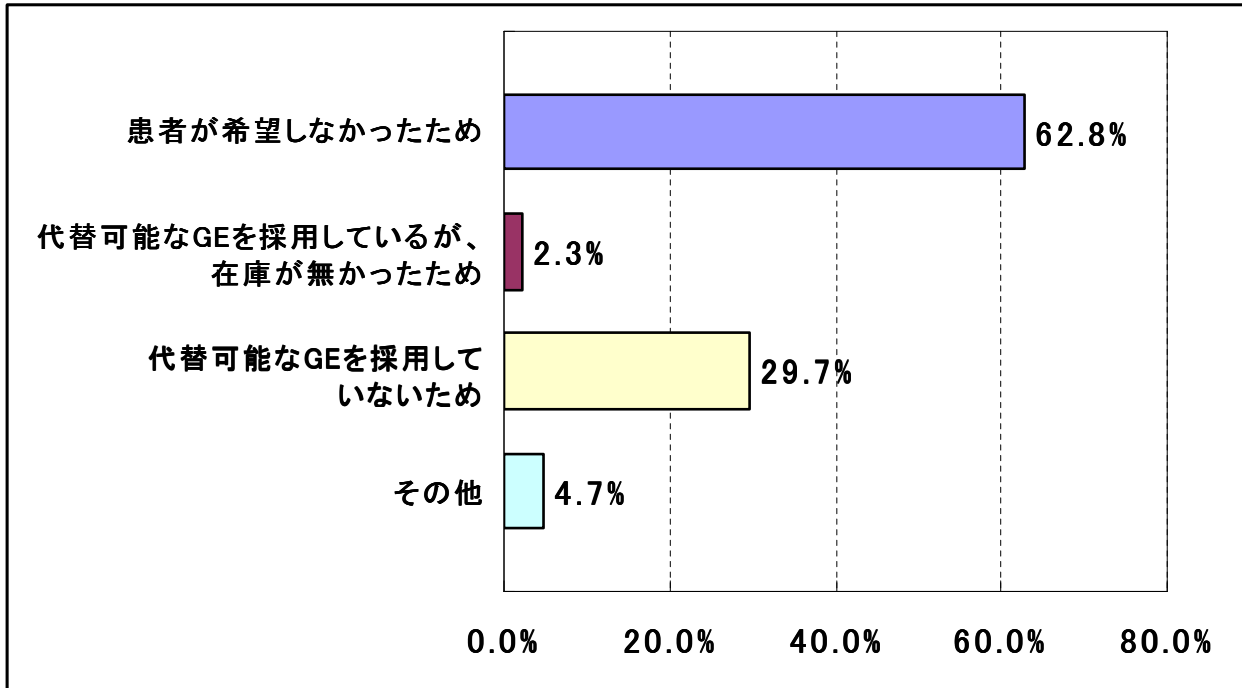
一般名処方された品目について、GEを調剤しなかった理由



※回答が有効であった施設について集計 (n= 1,348)

6

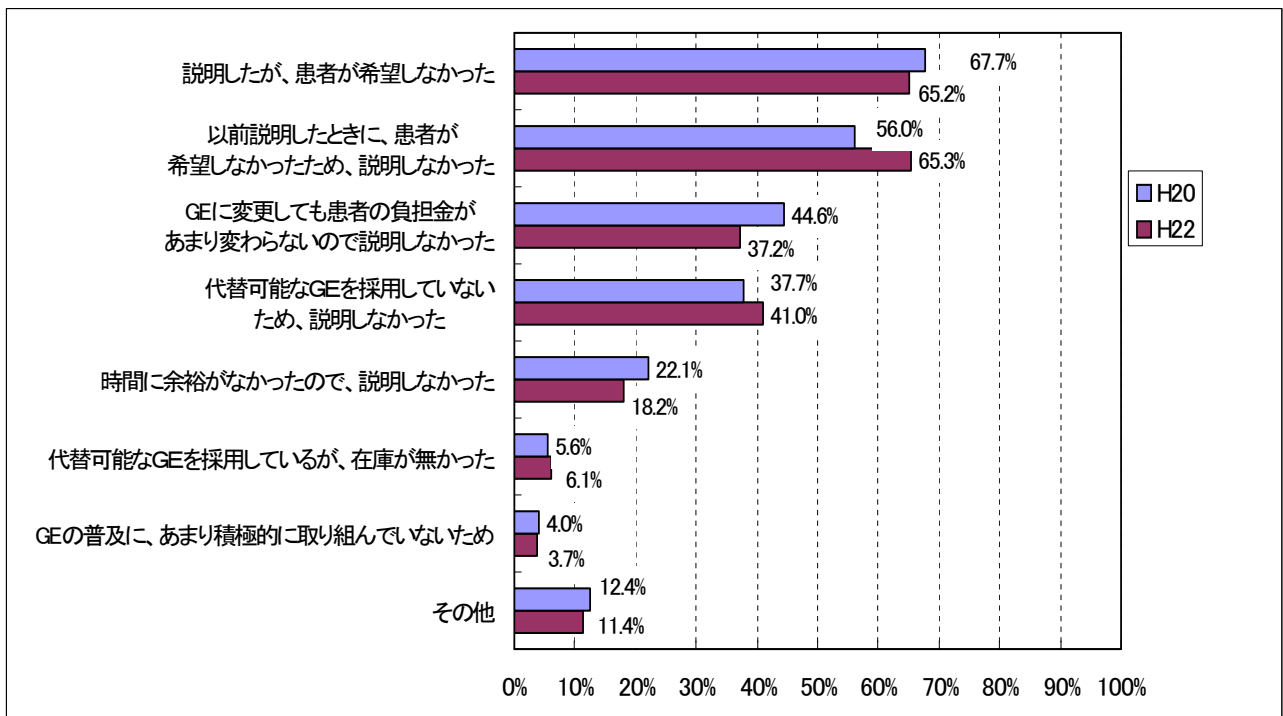
変更可能な品目があったが、1品目もGEを調剤しなかった理由



※回答が有効であった施設について集計 (n=1,540)
 ※複数回答

7

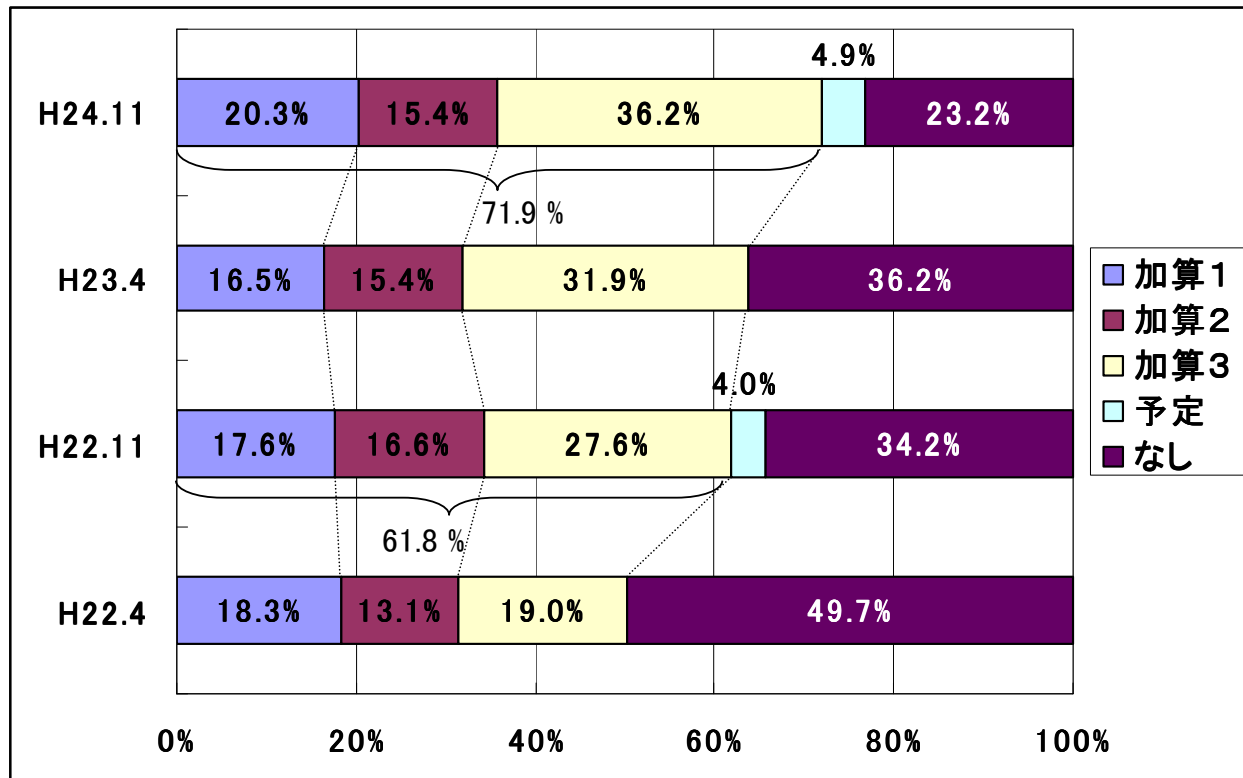
変更可能な品目があったが、1品目もGEを調剤しなかった理由 (参考:H20、22)



※回答が有効であった施設について集計 (H20調査n= 727、H22調査n=1,768)
 ※複数回答(1施設3つまで)

8

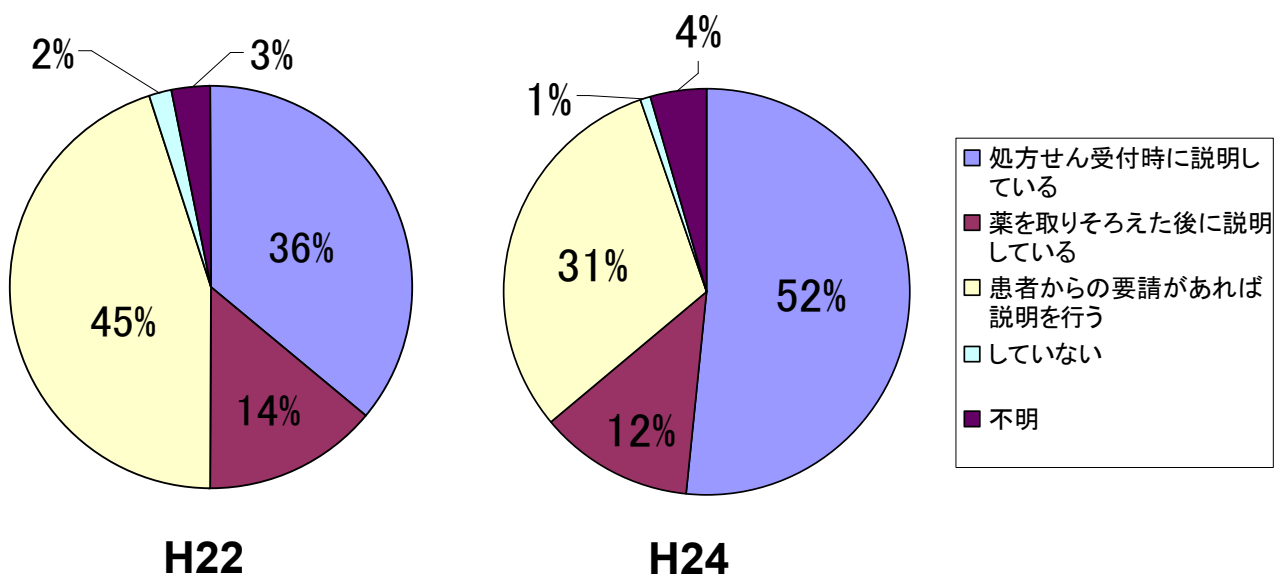
「後発医薬品調剤体制加算」について



※回答が有効であった施設について集計 (H24調査n= 1,870、H22調査n=1,977)

9

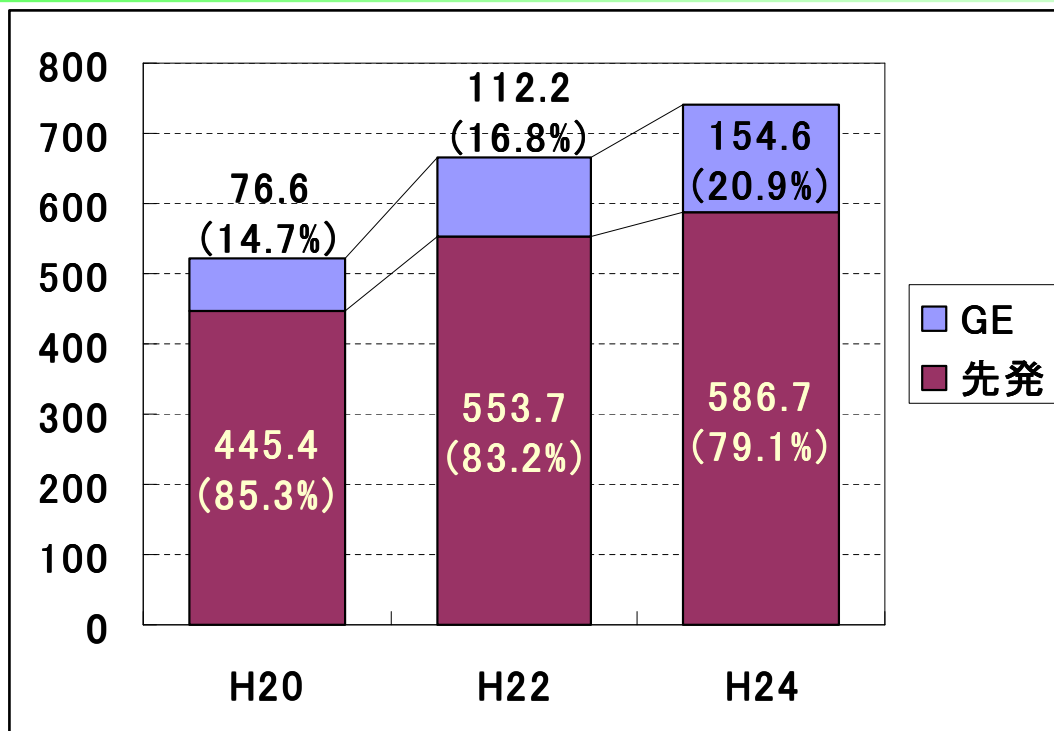
GEについて積極的に説明を行っているか



※回答が有効であった施設について集計 (H22:n=1,959、H24:n=1877)

10

ジェネリック医薬品の在庫状況



総品目数

522

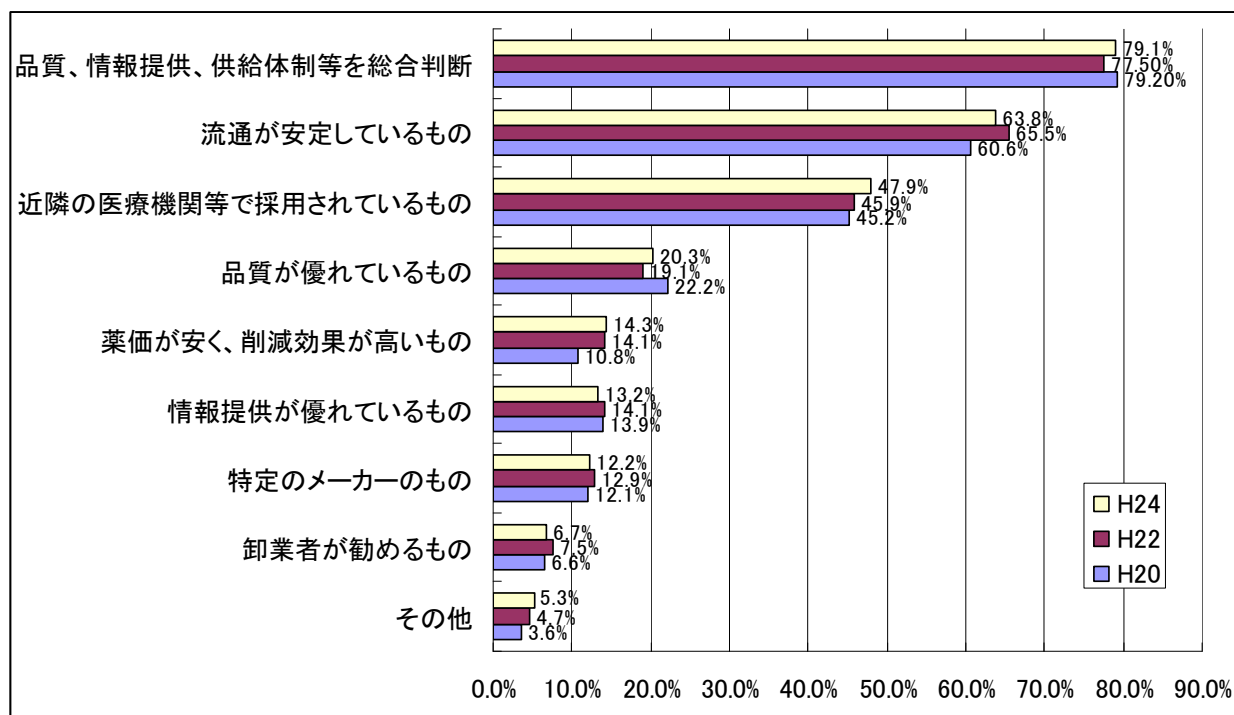
665.9

741.3

※回答が有効であった施設について集計 (H20調査n= 1,443、H22調査n=1,959、H24調査n=1,760)

11

ジェネリック医薬品の採用基準



※回答が有効であった施設について集計 (H20調査n= 1,539、H22調査n=1,981、H24調査n=1,874)

※複数回答

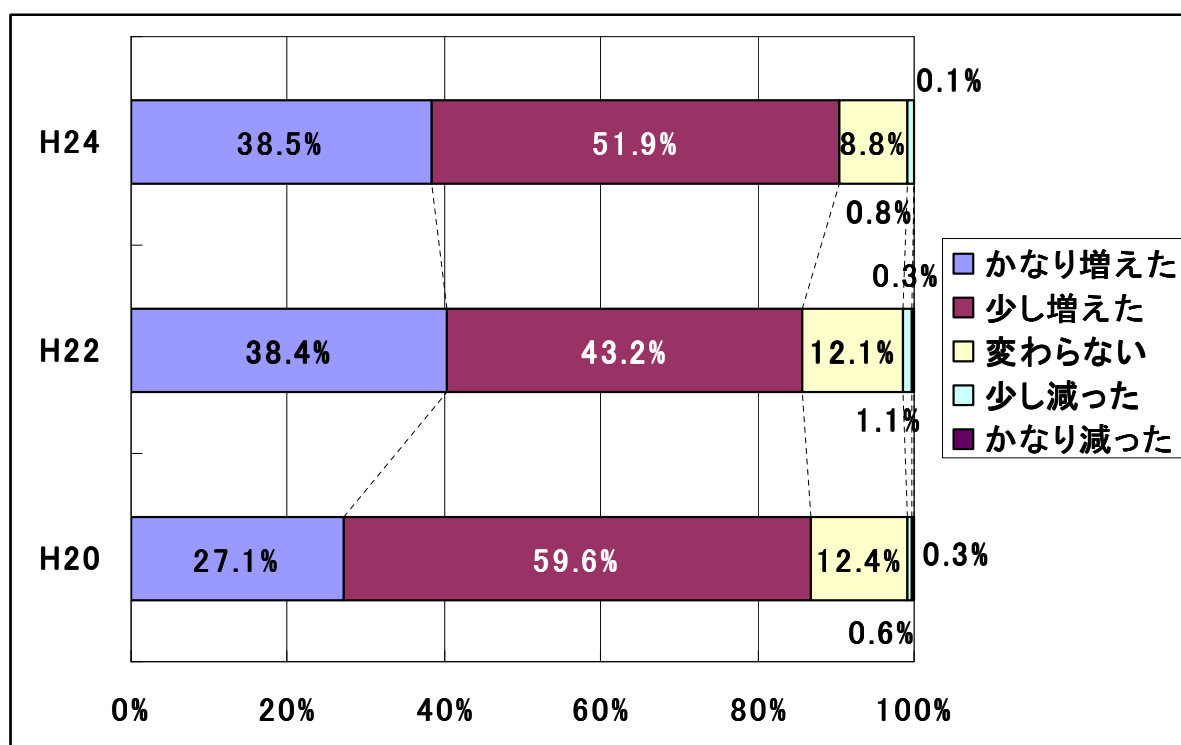
12

ジェネリック医薬品の採用基準（その他）

- ✓会社で推奨品が決められている
- ✓薬価差益の大きいもの
- ✓剤形の工夫があって患者にとってよいもの
- ✓先発品と外観が似ているもの
- ✓メーカーとして信頼できるところのもの
- ✓OD錠を優先的に採用
- ✓近隣の医療機関からの要望による
- ✓広域の病院で採用されているもの
- ✓薬の飲みやすさ、味
- ✓急配できるメーカーのもの
- ✓先発品と名前が似ている、特定しやすいもの
- ✓取り間違えの無い名前なもの

13

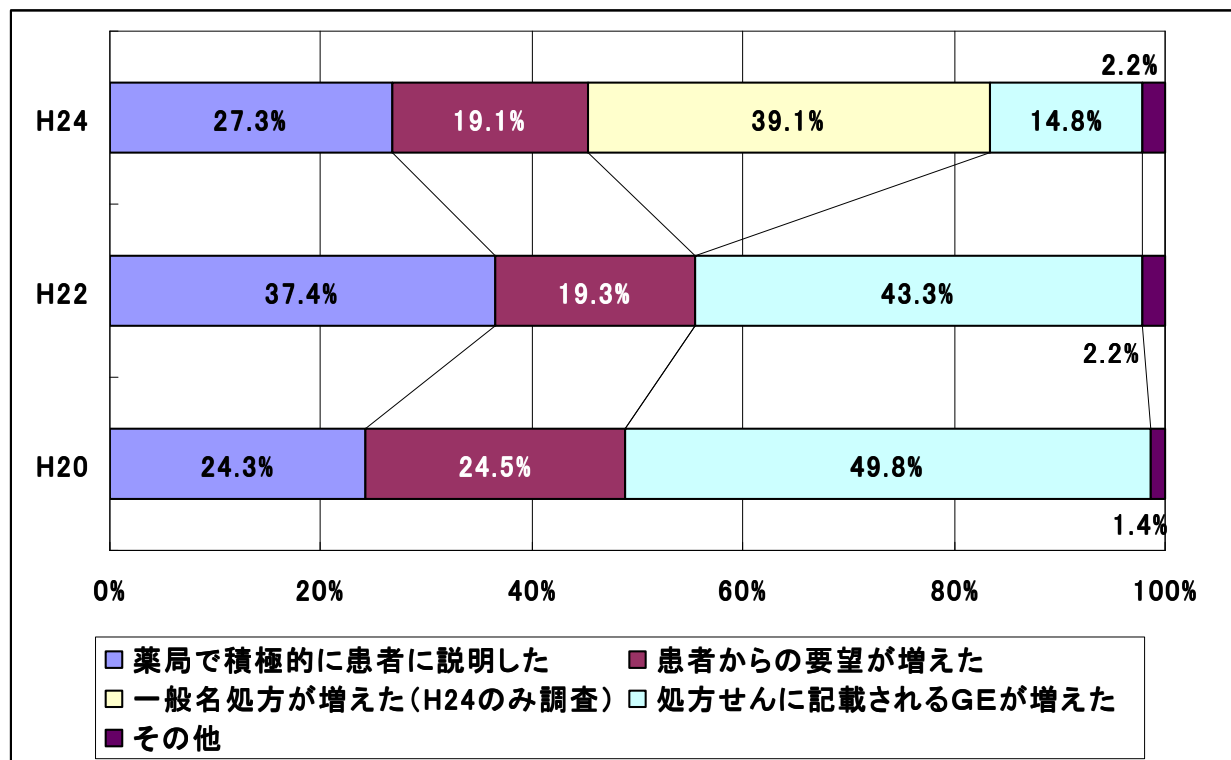
ジェネリック医薬品の調剤の割合について(1年前との比較)



※回答が有効であった施設について集計（H20調査n= 1,514、H22調査n=1,962、H24調査n=1,861）

14

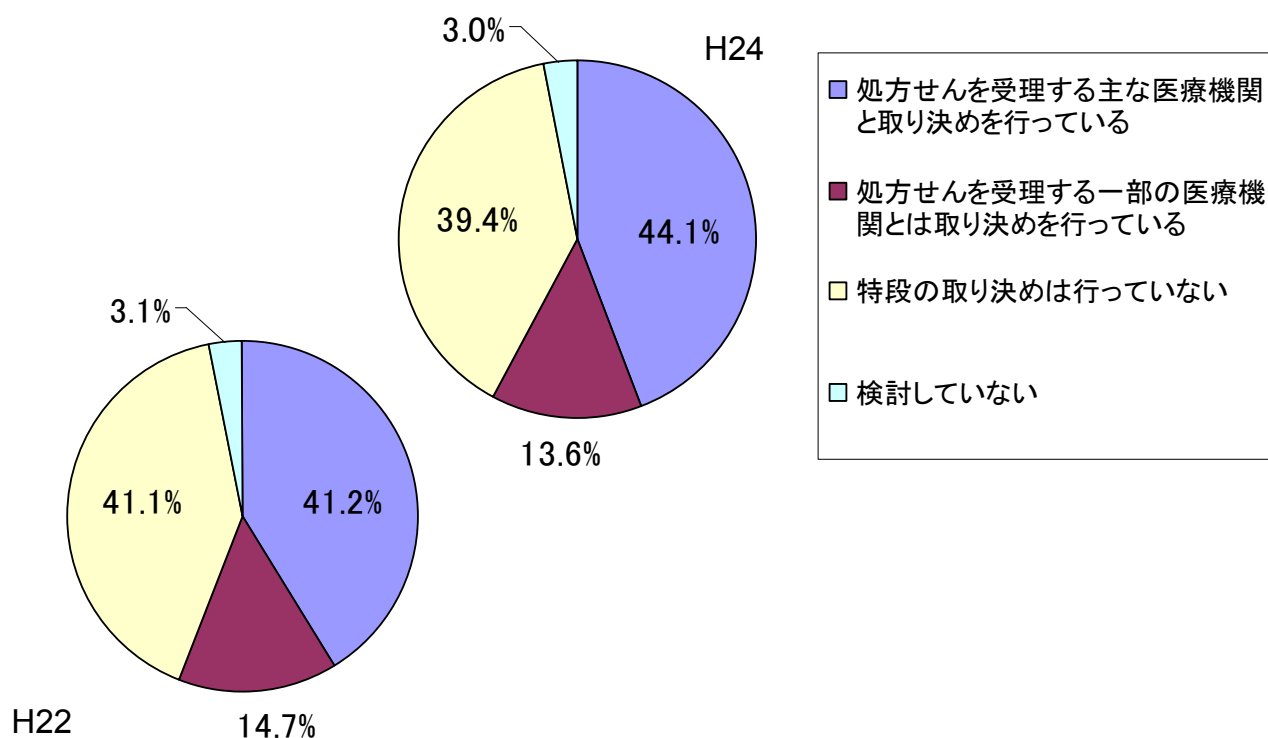
ジェネリック医薬品の調剤率が増えた理由



※回答が有効であった施設について集計(H20調査n= 1,259、H22調査n=1,657、H24調査n=1,665)

15

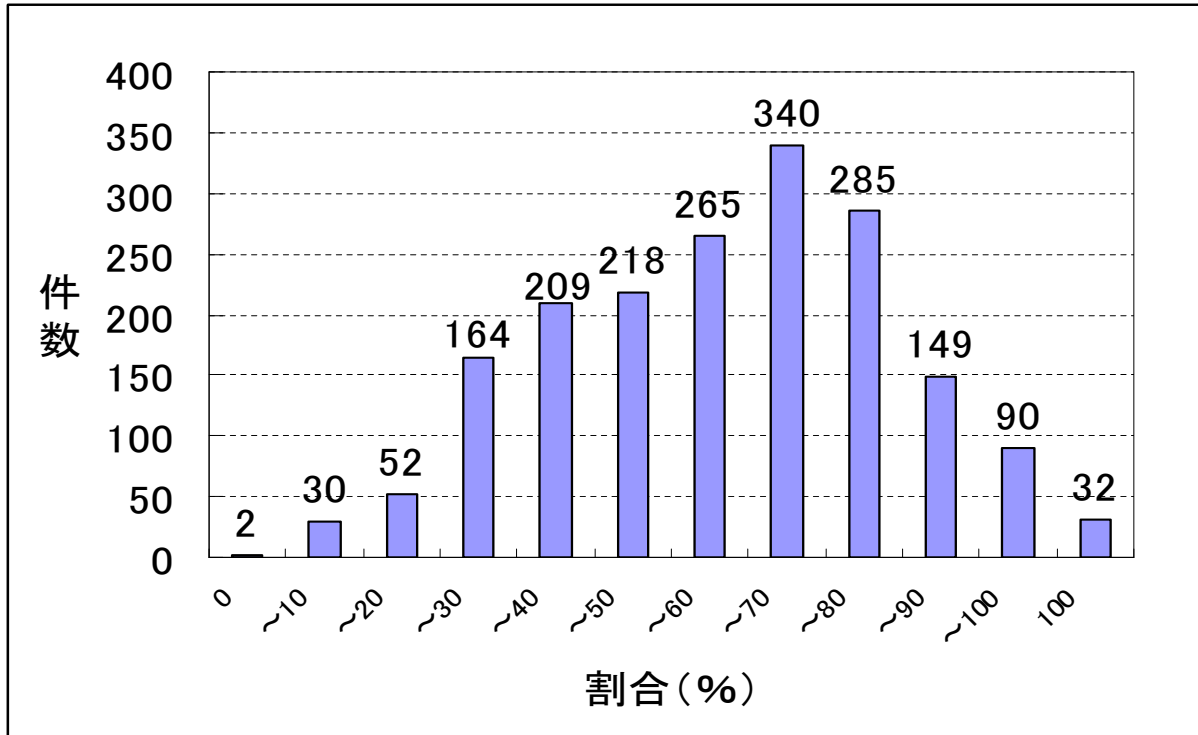
GEに係る医療機関との取り決めについて



※回答が有効であった施設について集計(H22調査n=1,958、H24調査n=1,665)

16

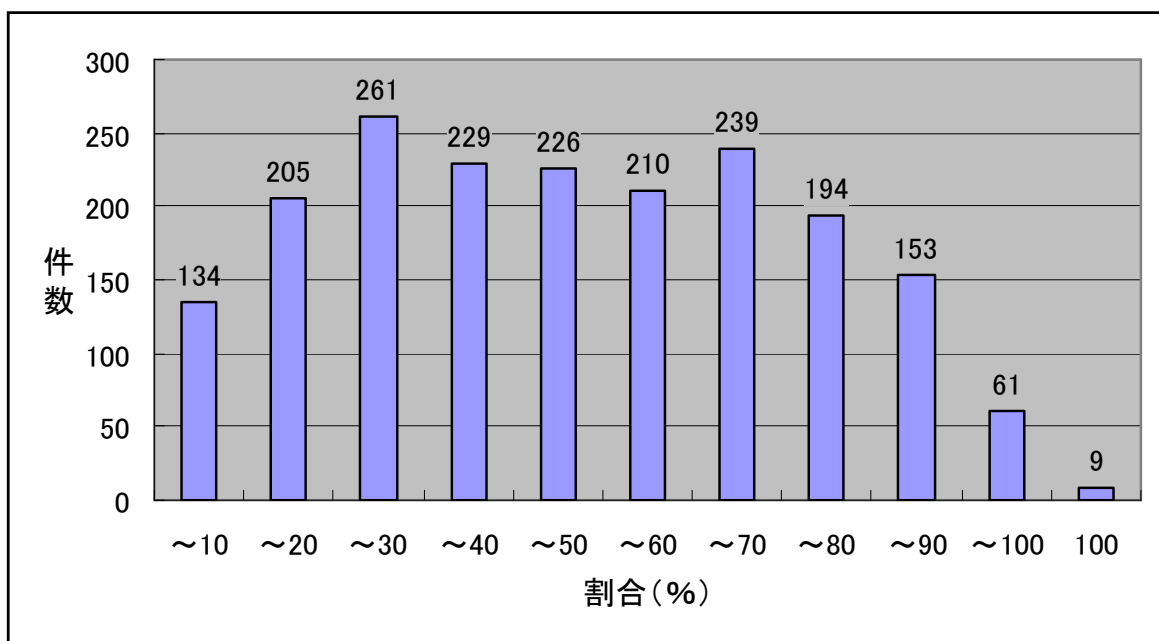
「お薬手帳」を持参する患者の割合（H24）



※回答が有効であった1,868施設について集計

17

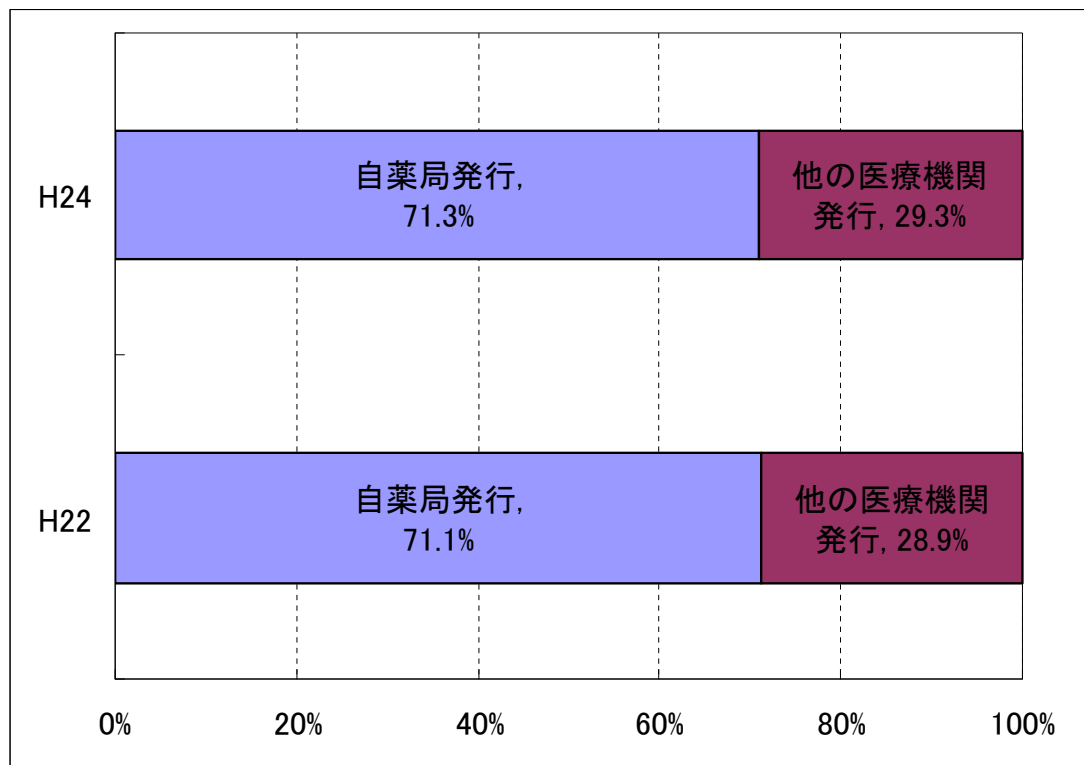
「お薬手帳」を持参する患者の割合（H22）



※回答が有効であった1,921施設について集計

18

持参された「お薬手帳」の発行元



※回答が有効であった施設について集計 (H22調査n=1,876、H24調査n=1,815)